

コンセプト “Beach Life Base Hiratsuka”

- ①ビーチに面するポテンシャルを最大限に活かして、**地域住民・広域来園者が「目的を持って訪れる公園」**を作ります。
- ②公園を基点として、**海・景観・自然・食**を楽しむライフスタイル「**海辺のある暮らし**」を創出します。
- ③そのライフスタイルが公園から周辺地域へ広がり、「**選ばれるまち・住み続けるまち**」平塚を実現します。

実施方針 3つの“Base”で日常を豊かにします

- 安全安心&自然を守り育てる基盤（Base）づくり
津波避難施設、飛砂対策、植栽保全・育成 **基盤**
- 海・景観・自然・食を楽しむ拠点（Base）づくり
多様な広場、夕日の絶景、平塚産の食材、マリンスポーツ **拠点**
- Beach Life Styleが生まれるきっかけ（Base）づくり
地域・地元メディアと連携したイベント・情報発信 **きっかけ**



サンセットテラスからの眺望

拠点

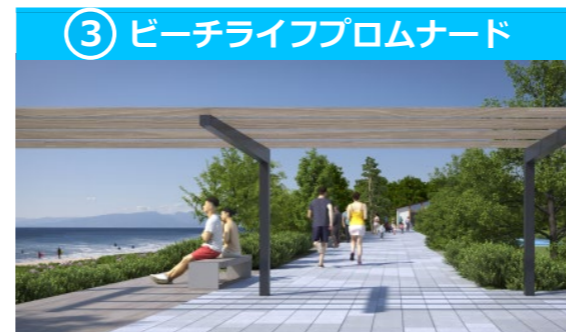
計画概要



① スポーツフィールド
スポーツをする子どもを見守りながら
カフェでゆっくりくつろぐ



② 芝生広場
ご近所家族と芝生広場でランチ
海の気配を感じながらピクニック



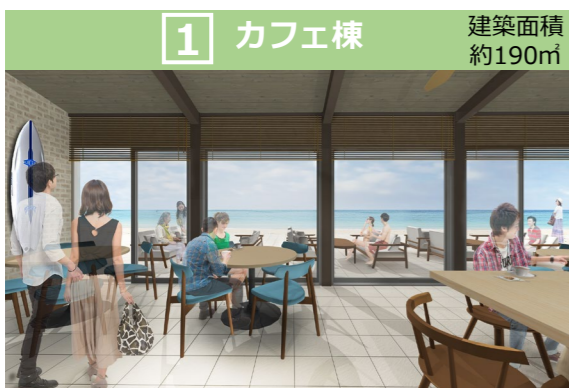
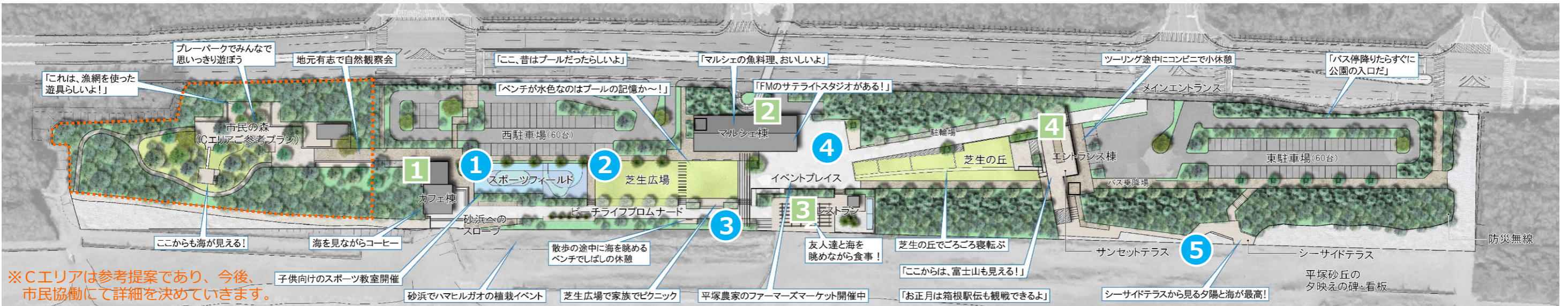
③ ビーチライフプロムナード
夫婦でランニング・散歩
海を眺めてちょっと休憩



④ イベントプレイス
平塚朝市で新鮮な野菜を購入
公園のにぎわいの中心



⑤ シーサイドテラス
恋人同士が夕日の絶景を楽しむ
海の近くから平塚八景をより印象的に



1 カフェ棟 建築面積 約190㎡
海の景色を楽しみながら
お茶・コーヒーを楽しめる



2 マルシェ棟 建築面積 約470㎡
平塚の海の幸・山の幸を販売
イトインでも楽しめる



3 BBQレストラン 敷地面積 約600㎡
高台から海を臨んで食事
マルシェ食材も持ち込み可能



4 エントランス棟 建築面積 約330㎡
日常の展望台が津波発生時は避難施設に
1階は便利なコンビニ、シャワー&ロッカー

〈計画のポイント〉

- 海・夕日方向へと導く主動線“ビーチライフプロムナード”を通し、それに沿って多様な広場や店舗を連続的に配置しています。
- 既存樹を東西に連続して保全、建物は全て平屋、総建築面積を1,000㎡以下とし、白砂清松の景観を守ります。
- 公園・ビーチ一体でバリアフリーとします。

植栽計画 創出型の植栽+既存樹の保全・再生を行います

基盤

東エリア：保全・再生型の植栽

既存樹を保全し、適切に管理します

- 既存の樹林を保全+間伐等による管理
⇒健全な状態へ再生
- 将来的に目指す樹高ラインを定め維持管理

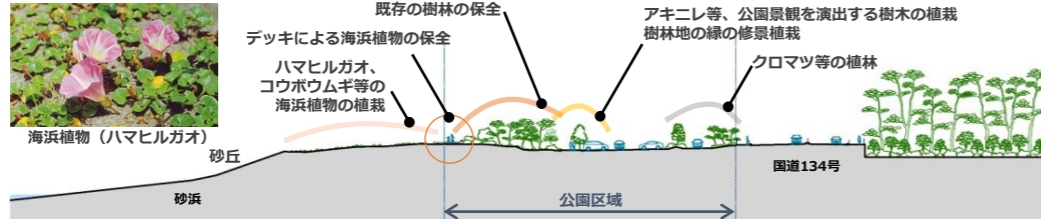
西エリア：創出型の植栽

プール跡地は新たな植栽を行います

- 周辺と一体で複層的・階層的な植栽を形成
⇒防風・防砂機能を有する環境育成

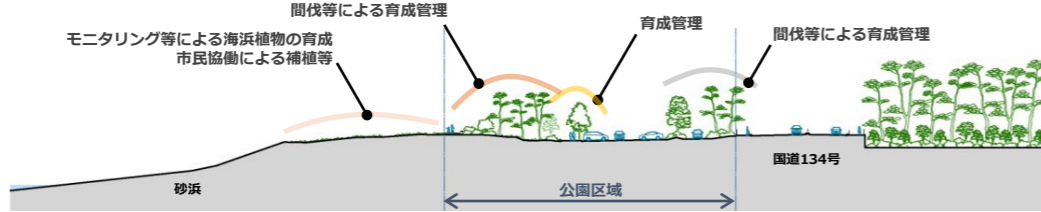
初期整備段階

- 海側の既存の樹林地を保全しながら、公園全体として複層的に樹林地を形成。
- 砂浜は海岸管理者との協議のもと海浜植物の植栽を実施。



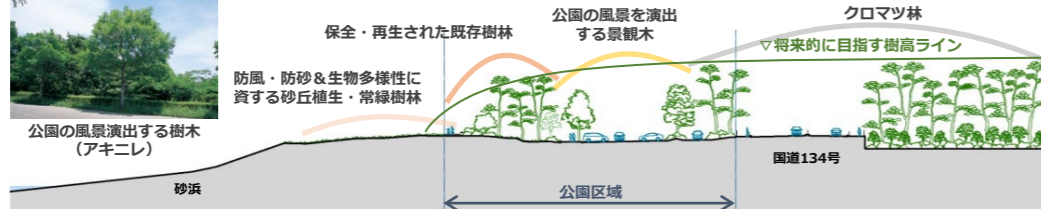
10~15年後

- 内陸のクロマツ林とあわせて、適正な間伐等を行い、育成管理を実施。
- 砂浜の植栽については、継続的なモニタリングを実施。



将来的な目標像

- 国道134号の北側樹林と一体となった大きな樹林帯を形成。
- 海側は海浜植生と常緑樹により東西方向の連続性を確保。



保存・再生型の植栽計画

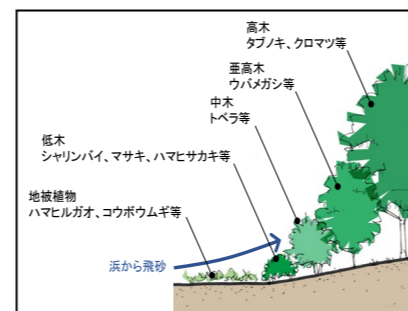
飛砂対策 環境・生態系に配慮しながら、様々な工夫で飛砂を防ぎます

基盤



- 既存樹林を東西に連続して保全（環境・生態系にも配慮）
- 西エリアの海側にバンク（堤）を形成
- 階層的な植生構造を構築
- 海浜部にハマヒルガオ等の補植

※事前に有識者と飛砂の検討を行っており、今後も検証を進めていきます。



階層的な植生

維持管理 生物多様性に配慮し、地域とともに公園を育てていきます

きっかけ

①生物多様性に配慮した植栽・植生の保全と育成

- 専門家と連携した海浜植生群落維持
- 既存樹林の間引き間伐による健全化
- 樹木医による巡回点検



公園サポーター

②海岸部の特性を踏まえた維持管理

- 日常的な点検と予防保全の推進

③地域とともに公園を育てる維持管理

- 公園管理に参加する公園サポーターを募集
- 植生を活かした環境教育プログラム



環境教育プログラム

専門家と連携した管理

津波・高潮対策 エリアトップクラスの津波避難施設を整備します

基盤

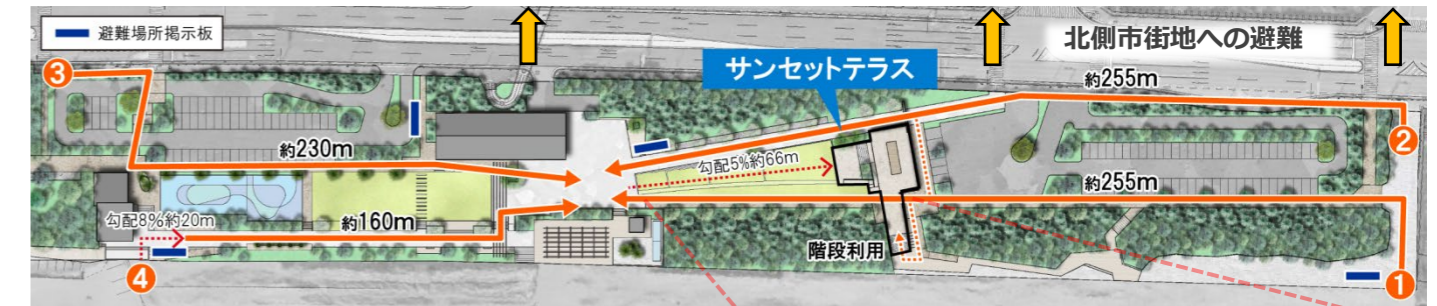
●高潮対策について

- 公園全体の地盤高を高潮の県防護水準6.5mを上回る8.4m以上に設定しています。

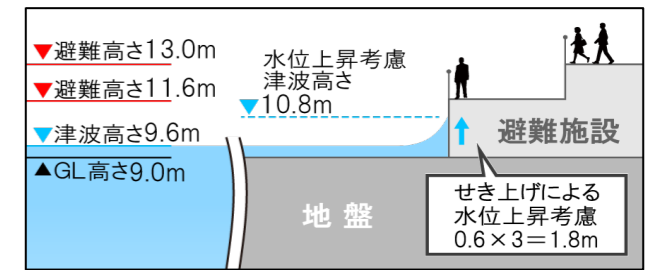
●津波避難施設の概要

- 構造は耐久性に有利なRC造とし、高さは最大津波高さ9.6mを考慮した海拔11.6mと13m、定員780人です。

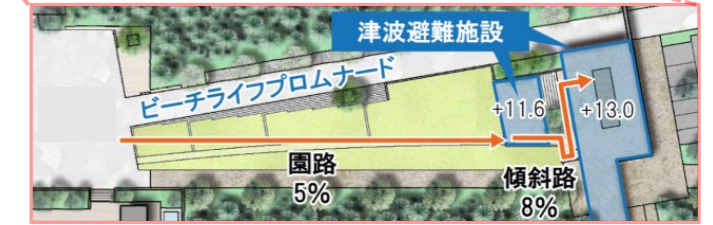
●津波発生時のオペレーション



- 車いす利用者が避難可能なスロープを設置し、歩行者・車いすとも、公園のどこからでも5分以内で避難可能な位置に計画しています。
- 津波の際は、北側市街地への避難を基本とし逃げ遅れる人を避難施設に誘導するオペレーションを実施します。



避難施設の高さ



車いす利用者の避難ルート

運営 4つのステップに基づき、多様なイベントを開催します

きっかけ

〈イベント開催の考え方〉

- “海岸エリア全体の魅力アップ”を目標に多様なイベントを実施します。
- 事業者・テナントを中心に地元住民、地域事業者、テナント、他公園と調整を図りながら企画・実行します。

知ってもらおう	何度も来たくなる	愛着が生まれる	平塚市が好きになる
初日の出撮影会	平塚朝市	フラダンスフェス	ビーチ清掃会
SUPイベント	パラスポーツフェス	ハマヒルガオ撮影会	防災訓練イベント

〈駐車場について〉

- オープン時間は東側・西側駐車場ともに5時~23時としており、どちらも有料を予定しています。

〈BBQレストランについて〉

- レストランとして運営を行っていきます。従業員が現地に常駐し、ゴミも運営事業者が処分する体制とします。

〈コンビニエンスストアについて〉

- エントランス棟内に24時間営業のコンビニエンスストアの提案があり、今後、営業時間等について協議して決めていきます。

今後のスケジュール

